

2023年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

城西国際大学

2024年5月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ● 城西国際大学動物実験等の倫理に係る規程 ● 城西国際大学動物実験倫理委員会に係る規程 ● 城西国際大学動物実験における管理に係る規程 ● 城西国際大学動物実験管理委員会に係る規程 ● 城西国際大学 動物実験指針 ● 城西国際大学 生命科学センター利用の手引き
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ● 機関内規定が適正に定められている。
4) 改善の方針 ● 該当しない

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験管理委員会が置かれている。 □ 動物実験管理委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験管理委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ● 城西国際大学動物実験等の倫理に係る規程 ● 城西国際大学動物実験倫理委員会に係る規程 ● 城西国際大学動物実験における管理に係る規程 ● 城西国際大学動物実験管理委員会に係る規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ● 城西国際大学動物実験管理委員会および動物実験倫理委員会が適正に設置されている。
4) 改善の方針 ● 該当しない

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ● 城西国際大学動物実験倫理委員会に係る規程 ● 城西国際大学動物実験等の倫理に係る規程 ● 城西国際大学動物実験に係る倫理審査フローチャート ● 動物実験計画書等(様式 A~C) ● 動物実験報告書(様式 D)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ● 「動物の愛護及び管理に関する法律」(以下「法」という。)、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(以下「飼養保管基準」という。)及び文部科学省が策定した「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(以下「基本指針」という。)を踏まえ、動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針 ● 該当しない

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ● 城西国際大学動物実験等の倫理に係る規程 ● 城西国際大学動物実験における管理に係る規程 ● 城西国際大学 動物実験指針 ● 城西国際大学 生命科学センター利用の手引き ● 城西国際大学薬学部 組換えDNA実験安全管理規則 ● 城西国際大学薬学部 安全の手引き
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ● 動物実験に関する安全管理、および、遺伝子組み換え動物実験の実施体制が定められている。 ● 感染動物実験は施設として実施できないため、感染動物実験規程はない。

4) 改善の方針

- 該当しない

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- 城西国際大学動物実験における管理に係る規程
- 城西国際大学 生命科学センター利用の手引き

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

- 機関内における実験動物の飼養保管施設は把握されている。
- 実験動物管理者が置かれ、生命科学センターは適正に維持管理されている。

4) 改善の方針

- 該当しない

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特記なし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- 城西国際大学動物実験倫理委員会に係る規程
- 令和4年 城西国際大学動物実験倫理委員会議事録
- 城西国際大学 生命科学センター利用の手引き
- 令和4年 城西国際大学 教育訓練の実施状況報告書および資料
- 令和4年 城西国際大学 動物実験計画書
- 動物実験倫理審査申請書チェックシート
- 令和4年城西国際大学 動物実験承認書および承認一覧表

令和4年 城西国際大学 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 各学部の動物実験倫理委員会による学部内予備審査後に、全学動物実験倫理委員会は動物実験計画書の審査を実施している。学長が動物実験を承認している。また、施設の管理や教育訓練の実施等においては動物実験管理委員会が役割を果たしている。
4) 改善の方針 該当しない

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 - 城西国際大学動物実験倫理委員会に係る規程 - 城西国際大学動物実験等の倫理に係る規程 - 令和4年城西国際大学動物実験倫理委員会議事録 - 令和4年城西国際大学 動物実験計画書 - 令和4年城西国際大学 動物実験承認書および承認一覧表 - 令和4年城西国際大学 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) - 動物実験計画書の立案、審査、承認については城西国際大学動物実験等の倫理に係る規程に則して適正に実施されている。 - 実験結果報告は動物実験報告書としてとりまとめている。
4) 改善の方針 該当しない

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料(安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) - 城西国際大学 生命科学センター利用の手引き - 令和4年 城西国際大学 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 事故は発生しておらず、安全に動物実験が実施されている。
4) 改善の方針 該当しない

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 - 城西国際大学動物実験における管理に係る規程 - 城西国際大学 動物実験指針 - 城西国際大学 生命科学センター利用の手引き - 令和4年 城西国際大学 生命科学センター業務月報 - 令和4年 城西国際大学 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験動物管理者の活動は適切であり、かつ飼養保管は生命科学センター利用手引き等により適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当しない

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 - 城西国際大学 生命科学センター利用の手引き - 城西国際大学 生命科学センター業務月報 (事故報告)

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) ● 機関内の施設等は適正な維持管理が実施されており、施設・設備に関して適正な修繕・修理は行われている。
4) 改善の方針 ● 該当しない

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ● 令和4年 城西国際大学 教育訓練の実施状況報告書および資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) ● すべての動物実験実施者に対して、動物実験管理委員会が主催する初回・再教育訓練が実施されている。
4) 改善の方針 ● 該当しない

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ● 2022 年度城西国際大学薬学部実験動物に関する自己点検・評価報告書 ● 城西国際大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) ● 基本指針への適合性に関する自己点検・評価を行い、適合していると判断した。その結果を城西国際大学ホームページに公開した。
4) 改善の方針 ● 該当しない

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

- 2022年度で動物実験によって使用された動物数は以下のとおりである。
マウス 1,364 匹、ラット 518 匹、モルモット 6 匹